

Next Action



第25回 JFC アンデパンダン
@豊洲シビックセンターホール

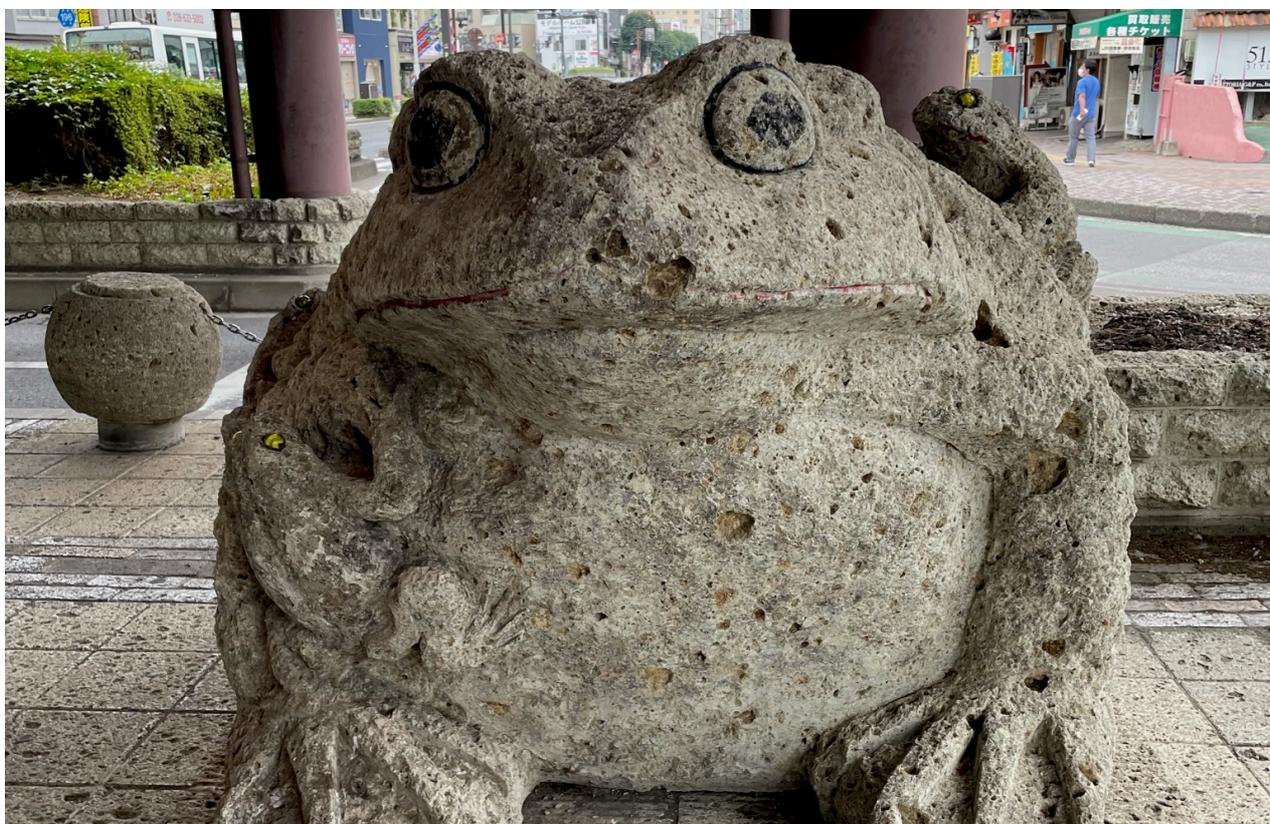


大谷石蔵の響き
@大谷石蔵スタジオ BE OFF



SANKYOKU 2022
@宇都宮市文化会館小ホール

KOTO-NOBU-LOG.



無事にカエル！

コロナの第7波への警戒がニュースになっている最中ではありましたが、今年のお盆は3年ぶりに故郷へ帰省しました。

それ以前は頻繁に行き来していた近い故郷でしたが、コロナ禍の影響で遠い故郷となり、その間、改めて自分の生まれ育った故郷について思いを馳せ、考える期間にもなりました。

今号の表紙は、JR「宇都宮」駅西口ロータリーにある大谷石で造られた大きなカエルの彫刻です。宇都宮へお出掛けの際には、ぜひ“映える”写真を撮ってみたいですね！

宇都宮と「大谷石文化」



大谷石（おおやいし）をご存知でしょうか？

9月23日（金祝）に、東武宇都宮線「南宇都宮」駅前にある大谷石蔵スタジオ be offで開催するノブラボ・コンサート・キャラバン2022栃木公演『大谷石蔵の響き ～とちぎ未来大使を迎えて～』は、その「大谷石」がもたらした地域文化と建築、そして邦楽演奏会を結びつけた公演です。



「大谷石」は、宇都宮市の大谷地区で採掘される石材で、およそ1500万年前の海底火山から大量に噴出した軽石流などが、長い年月をかけて堆積した凝灰岩の1つです。また、軽く柔らかいため加工がしやすい、土木用石材として廉価、産出量が多く、運搬のための交通網が整備されていたなどの理由で、20世紀を代表する建築家のフランク・ロイド・ライト（1867-1959）の設計した旧帝国ホテル、自由学園「明日館」、旧・山邑家住宅や、その弟子である遠藤新（1889-1951）の建築に、さらに関東大震災の震災復興用



建材としての役割、東京都板橋区の「常盤台住宅地」計画のための造成や外構工事用など、全国的に知られ使用される石材となりました。

その大谷石産出による産業は、石材運搬のための交通網の整備や石仏、石塔、そして都市整備にも大きな影響を与えていました。現在でも一般的な積み石での石塀、門柱はもちろんですが、護岸、橋、噴水に花壇、道路の敷石、そして、現存していませんが石の野球場や陸上競技場など、かつての宇都宮市内には石造りによるモダンな都市景観を持った文化的街並みが見られたようです。私にとっても門柱、石塀、石畳みの道は、子供の頃から馴染みのある「大谷石文化」で、改めて、その石材と地域文化や人々の関わりを思うと、これまでと違った故郷が見えてくる今日この頃です。この機会に、より詳しく「大谷石」と宇都宮市の関わりを知りたい方は『石の街 うつのみや 大谷石をめぐる近代建築と地域文化』（宇都宮美術館 2017/2018）を手にとってみてください！



『大谷石蔵の響き』

～とちぎ未来大使を迎えて～

2022年9月23日（金祝） 15:00開演

@大谷石蔵スタジオ be off

東武宇都宮線「南宇都宮」駅より徒歩1分